

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	津山市加茂町文化センター
(2) 指定管理者	所在地 津山市山北 520 名称 一般財団法人津山市都市整備公社 代表者 理事長 植月 優
(3) 公の施設の所管部署	津山市教育委員会生涯学習部文化課
(4) 指定期間	平成 28 年 4 月 1 日 ~ 令和 3 年 3 月 3 1 日
(5) 評価対象期間	平成 30 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 3 1 日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	17,152 人 (前年度 9,401 人)
(2) 事業の内容	<p>・施設管理業務及び自主文化事業等 (自主文化事業内容) こどもの日イベント(5/3)、バーバリウム作り(6/17)、七夕会(8/17) ハロウィンイベント(10/28)、クリスマス会(12/15)、ピアノリレーコンサート(2/24) (共催事業) 加茂町文化祭</p> <p>・開館日数 332 日(稼働日数 201 日) ・年間稼働率 60.5%(前年度 54.8%)</p>

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	<p>総額 16,242 千円(前年度 16,898 千円)</p> <p>指定管理料 14,150 千円 負担金収入(加茂支所移転に係る負担金) 1,392 千円 利用料金収入 216 千円 自主事業収入 188 千円 その他の収入 296 千円</p>
(2) 支出 (指定管理者の支出)	<p>総額 16,242 千円(前年度 17,781 千円)</p> <p>主な支出 人件費 6,133 千円 光熱水費 3,896 千円 修繕・消耗品費等 567 千円 委託料(施設管理) 3,696 千円 事業費 46 千円 公租公課 550 千円 その他 1,354 千円</p>

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	<p>利用者の利便性向上及び施設管理の充実を図るため、意見箱を設置し、広く意見を求めた。自主事業等の際にもアンケート調査を実施し、反省材料と今後の事業展開の参考にした。現況では、「利用に際しては、概ね満足している」との評価を受けている。</p> <p><アンケート調査の詳細></p> <ul style="list-style-type: none"> ・無料イベントでもスタッフが親切に対応してくれた。 ・もっとイベントを開催してほしい。 ・有名なピアノがあるので、もっと利用回数を増やしてほしい。 ・またイベントに参加したい。 ・その他、各イベントに対する感想・要望等。
-----------------	---

<p>(2) 指定管理者の自己評価</p>	<p>市民の文化と福祉の向上に寄与するため、生涯学習推進の拠点施設として各種事業を実施した。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域文化の向上と施設の活性化に努めた。 ・津山市加茂郷文化ふれあい交流施設運営委員会を設置し、地域の意見を取り入れるなど、事業実施に努力した。 ・津山市加茂支所庁舎移転に伴い、10月から施設の利用が制限されたが、閉庁日等に小規模のイベントを開催し、利用促進に努めた。 ・加茂町文化協会と文化祭を共催するなど、文化・伝統芸能の発表、交流の場として利用者とのコミュニケーションを図るとともに、学校が長期休暇の際にホワイエを自学自習の場として提供した。 ・新規利用者を獲得するなど、施設の稼働率を向上させるため、SNS等で情報発信を行なった。 ・コンプライアンス研修等を実施し、より適正で効率的な管理運営に努めた。 <p>平成31年度も加茂支所庁舎移転に伴い、10月末まで施設の利用が制限される予定だが、コンパクトなイベントを継続して企画し、利用促進に努めていく。</p> <p>指定管理者として、業務計画書に基づき、安全で快適な施設利用を第一に業務を遂行し、適正かつ良好な管理であったと評価する。</p>
<p>(3) 市の評価</p>	<p>平成30年10月から加茂支所建替のため、文化センターへ支所移転による楽屋等の貸し部屋の減少により、ホール利用に影響があったと考えられる。このような状況下で、創意工夫により地域住民との交流イベント等で集客努力を行なっていることは認めるものの、自主事業収入が昨年度に比べ大幅に減少していることから、更なる努力を求めたい。</p> <p>全体的な収支は、支所が入った事による負担金によるマイナスは計上していないが、独自のアイデアと工夫により利用者数と収益に繋がる事業を期待する。</p>